



2020年7月16日発行 会報第1019号

今週のプログラム

(2020年7月16日 第1019回例会)

卓話：感染症の歴史

担当：西本 明文会員

次回のプログラム

(2020年7月30日 第1020回例会)

卓話：軌道修正

スピリチュアルマザーに捧ぐ

担当：山田 克子会員

第1018回例会 (2020年7月9日の記録)

<会長の時間>

山本 友亮 会長

皆さま、こんばんは。高田宗慶会員ようこそいらっしゃいました。入会おめでとうございます。あらためて新会員をお迎えできる喜びで一杯です。以前、村田会員が「山本会員は、私が会長の時に入会された会員だから、顔見たら嬉しい。」とおっしゃっていただきました。私も今、そのお気持ちがわかるような気がします。高田会員、どうぞ良き先輩に囲まれて楽しく充実したロータリーライフをお楽しみ下さい。

本日は例会前に高田会員の入会説明会を大先輩の水島会員がして下さいました。その中に「4つのテスト」があったと思います。ロータリーの基本理念である「4つのテスト」ですが、私も勉強不足なので、あらためて学習してまいりましたので、少しお話をさせていただきます。

今日はこの「4つのテスト」の成り立ちのお話です。

創案者はハーバード・J・テーラー（通称ハーブ）さんという人物でした。ハーブさんは順調に社会人として職業人として成功を続けておられました。そして、シカゴ RC の会員となられます。そんな最中、倒産寸前の調理器具メーカー「クラブ・アルミニウム」社の再建を託されます。現在のお仕事の給料の8割減、また自分の貯蓄も6,100ドル投げ出しその再建に運命を託されました。

その再建に際し、同社の倫理訓と言いますか経営理念として考え続け到達したのが「4つのテスト」の原型になったそうです。

「言行はこれに照らしてから」

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか というのが「4つのテスト」です。

あらためて、日々自問自答していきたいと思いました。

<お客様> なし

<出席報告>

高尾 修 SAA

会員数（内出席免除会員1名） 17名  
本日の出席者数 12名  
（内免除会員0名）  
（名誉会員 0名）  
本日の出席率 75.00%

<ロータリーソング>

全会員

♪それこそロータリー♪

<本日のピアノ曲>

近藤 美里さん

1. 雨の日の噴水
2. 雨に濡れても
3. Take Five
4. If We Hold On Together

<新会員入会式>

高田宗慶会員が本日入会されました。おめでとうございます！



<前会長ピン贈呈>

山本友亮会長から木下健治前会長へ贈呈  
お疲れさまでした！

<米山寄付表彰>

米山功労者 第2回マルチプル 木下健治会員  
米山功労者 第4回マルチプル 木下吉宏前会員



<幹事報告>

水本 徹 幹事

1. 秋の RYLA セミナー（2019年11月2日～4日開催）の報告書（DVD）が届きました。持ち帰ってご覧になれる方は、事務局までお知らせ下さい。
2. 第19回ロータリー全国囲碁大会のご案内が届きましたので回覧致します。
3. 来週例会に今年度ガバナー補佐 西川正一様が来られます。
4. 7月2日の理事会報告

## 理事会・委員会記録より

- ① 高田氏入会承認の件 → 承認 7月9日入会 インフォメーションは水島会員  
② 本年度会長方針の件 → 大きな活動を確実に行っていきたい。  
③ 本年度プログラム・行事の件 → 退会者分含めて3日ある予備日の対応は、高田新会員の  
イニシエーションとゲストスピーカーに依頼  
④ 簡 仁一ガバナー公式訪問 10/29→ 承認  
西川正一ガバナー補佐訪問 10/15 例会前面談は例会場奥のテーブルで行う。  
⑤ 現況の原稿提出の件 → 担当委員長に依頼済み。7月末期限 個別フォロー

## <SAA報告>

高尾 修 SAA

### ※スマイルボックス

松田会員 仲間が増えました。高田さん、WELCOME

### ※ロータリー財団

藤田会員 職業奉仕委員会 方針説明 皆様宜しく願います。

高尾会員 高田様 ご入会おめでとうございます。

### ※米山記念奨学会

木下会員 気が楽です。

相原会員・高尾会員・山本雅之会員 コメントなし

### ※メイプル基金

山本友亮会員 大歓迎 高田新会員！！

水島会員 社会奉仕委員会 活動計画発表します。

水本会員 高田様 大・大歓迎！！

藤田会員 大雨被害、お見舞い申し上げます！！

木下健治会員 改めまして、山本会長・水本幹事 よろしく願います。

高尾会員 コメントなし

## <委員会活動方針>

### <クラブ奉仕委員会>

黒川彰夫 委員長(代読 藤田芳浩会員)

山本友亮会長と経験豊かな水本徹幹事の考えを踏まえて、クラブ奉仕委員会を運営していきたいと思っています。現在、私たちのクラブでは3つの委員会がありますが、それぞれの委員長と一体となってクラブ奉仕活動に尽力する所存です。とは言うものの本年度、私たちのクラブは地区でも最少会員数に近くになっております。したがって、多くの役を兼務せざるを得ないのが現状ですので、会員一人一人のご協力を宜しく願ひ致します。会報・情報委員会は藤田芳浩委員長、会員(戦略)委員会は木下健治委員長、親睦委員会は私が委員長を司ることとなりました。しかし、私は20数年のロータリーライフの中で、親睦委員長は初めてであります。各会員には大変なご迷惑をおかけすると思われませんが、誠心誠意努力致しますので、温かい目で見守って下さい。そして、先ずはコロナ渦で催せなかった行事の洗い直しから始めたいと思っています。

<職業奉仕委員会>

藤田芳浩 委員長

2006年12月に入会させて頂きましたので、本年度は入会14年目に入ります。

2019-2020年度は、初めての親睦委員長をさせて頂きましたが、結構楽しんで務めさせていただきました。今年度2020-2021年度も初めての職業奉仕委員長を務めさせていただきます。「職業奉仕委員長」と申しますと委員長になられた皆様は、判りにくく・説明しづらい委員会だと申されます。確かに、「四つのテスト」「超我の奉仕」「ロータリーの樹」等々判ったような気持にはなりますが、でも突き詰めると判らない内容です。

第2660地区のHPからは、様々な資料が入手できます。この「ロータリーの職業奉仕 歴史と変遷」も全部で17Pあります。その中で、2016年規定審議会の採択「標準ロータリークラブ定款 第6条 五大奉仕部門 2、奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」とあります。つまりプロフェッショナルな方々が、その時々社会が必要としている問題解決やニーズに応える事だと思えます。時代と共にこの課題は、変わっていきます。現状ですと以前水島会員からも卓話でお聞きした「SDGs（持続可能な開発目標）」がそれだと思えます。具体的には17の課題と169のターゲットがあります。この1年間「SDGs」を中心に皆様のプロフェッショナルなお知恵を拝借して、社会に貢献できる物を具体化していければ良いなと思えます。

この17の課題の中には、「9 産業と技術革新基盤をつくろう」の中に1、「強靱（レジリエント）なインフラ構築」があります。レジリエントとは速やかに元の状態に回復する能力・性質のことです。具体的には、「自然災害にあってもいち早く元の状態に回復できるインフラの構築」です。日本も毎年自然災害に見舞われます、千里メイプルロータリークラブのプロフェッショナルの皆様のお知恵を拝借して、災害時の心得（災害保険・法律的な知識）・備え（防災用品・薬品等）・具体的な対応（避難方法・復旧方法・感染症の対応等）を判りやすく小冊子等にまとめられれば有用だと思えます。まだまだこれから調べていきますので宜しくお願い致します。また、機会があれば職場訪問等も企画したいと思えます。

<社会奉仕委員会>

水島 洋 委員長

① 昨年に引き続き子ども食堂を運営する「一般社団法人放課後 kids」を支援したいと考えます。今年度も8月6日の社会奉仕フォーラムに3名のスタッフにおいていただき、卓話をお願いする予定です。今年度はできれば動画によるご説明をお願いしていますが、昨年台風の影響で訪問できなかった牧野校の様子も見る事ができればと思えます。

この度の新型コロナウイルス感染予防のため、活動もままならないとお聞きしていますので、そのあたりのご苦労話もうかがえたらな、と考えます。

② 西日本豪雨災害の発生から7月6日で丸2年になりますが、山本加奈子さんは倉敷市真備地区で精力的にボランティア活動を続けておられるようです。2年経って災害ボランティアから復興支援に移ってきているようで、少しでも住民のニーズに応えたいと考えておられます。

新型コロナウィルスの影響で古着の支援はストップしているようですが、何か支援の必要な物があればご相談下さいと申し出ています。

また、このたびの熊本県豪雨災害のボランティアにも行かれるようで、現地で必要なもの、ニーズがあればご協力をお願いしますと言われていました。

③ 新型コロナウィルスの感染状況は収まる心配がみられませんが、クラブとして対応する必要が生じた時には適宜行動したいと思います。

<国際奉仕委員会>

松田親男 委員長

昨年まで、国際奉仕委員会は、4つの小委員会がありました。ロータリー財団、米山奨学会、国際奉仕プロジェクト、国際交流・青少年の4つです。

会員数に応じた組織改編の動きの中で、ロータリー財団、米山奨学会の2つを小委員会として残し、他は特別な小委員会は組織しないこととなりました。

だからと言って、国際奉仕プロジェクト、国際交流青少年をないがしろにするではありません。国際奉仕プロジェクト小委員会で実施していた川崎医療福祉大学の山本加奈子先生へのラオス活動の支援や国際交流青少年委員会で実施していた関西大学国際部山本英一教授のご協力による留学生との交歓会などは、小委員会の有無とは関係なく、当然継続してゆくプロジェクトです。

駆虫薬投与や水道設備整備等ラオス衛生活動支援は当クラブの定番プロジェクトです。毎年駆虫薬投与や水道設備整備等の資金を援助してきました。その後加奈子さんから、奨学金を創設したいとのご希望を聞いていましたが、具体的な話はまとまっていませんでした。加奈子さんのご意向もお聞きして、前へ進められればよいなと思っています。

ラオスへは、現地調査を兼ねて、これまで3回訪問しています。最後に行ったのは、2017年3月でした。「ラオスへ行こう」という掛け声が最近小さくなっていますが、そろそろ、第4次調査隊を送ってもいいころかもしれません。私は長くロータリーにいますが、一番記憶に残る活動でしたし、奉仕活動の意味を実感できたように思います。今まで行ったことのない方に是非お勧めします。

最後にお願いです。小委員会がなくなったおかげで、国際奉仕委員会は委員長と米山委員会の渡邊会員の2名だけとなりました。プロジェクト遂行には人員が絶対的に足りません。ご協力をお願いすることが多いと思いますが、NOと言わないように、よろしく願いいたします。

<青少年奉仕委員会>

松田親男 委員長

昨年度に引き続き委員長を務めさせていただきます。

昨年はいった企画もありませんでしたので、社会奉仕委員会企画（子ども食堂）に相乗りさせて頂き、私も力を入れていたのですが、台風のおかげで視察の企画が飛び、その後はコロナ禍で子ども食堂自体の開催も中止されるなどで、これといった活動ができませんでした。

会員の皆様のご意見を参考に、今後の活動内容を模索して行きたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。第2660地区の青少年奉仕活動のライラですが、

9月19日秋のライラ（枚方RC）は中止になりましたが、来年5月の連休中には春のライラ（吹田RC）が予定されています。従来通りの協力を実施する予定です。

8月22日に地区青少年奉仕委員会研修がありますので、勉強してきます。